

『今月の一言』

2014年の幕開け、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は今年の抱負を手帳に書き記しながら、この一年がGC-JNにとってどんな年になるのかワクワクした気持ちで新年を迎えました。今年も会員の皆様にタイムリーに情報をお届けしますのでニューズレターのご愛読をどうぞ宜しくお願いします。今月は年始号にふさわしいトピックを盛り込んでいますのでぜひ最後までお読みください。2014年も皆様にとって充実した1年になることを祈念しています。(GC-JN 事務局)

INDEX

★GC-JN からのお知らせ★

- 【ご挨拶】有馬代表理事より年始のご挨拶
- 【2014年はどんな年?】後藤理事、野村理事より
- GC-JN 会員数最新情報(2014年1月30日時点)
- 【報告】ラーニングフォーラム in 関西
- 【報告】BSRによるサプライチェーンセミナー
- GC-JN 2014年間カレンダー
- 【報告と予告】亙理(わたり)町コレクティブアクション第5期活動報告とイベント開催の予告
- 【予告】RI Asia 2014カンファレンス(3月5日、6日)

★UNGCの最近の動き★

- 世界の会員数最新情報(2013年12月31日時点)
 - 【再掲】Global Compact ロゴポリシー 2014年1月より発効
 - 【ご参考までに】ツールをご紹介します
-

★GC-JN からのお知らせ★

○【ご挨拶】有馬代表理事より年始のご挨拶

早くも2014年の最初の月が過ぎようとしていますが、ニューズレター1月号に合わせて皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。2013年は日本経済が成長路線に向けてやっと動き始める年となりました。皆様の周りにもよいニュースがたくさんあったことと思います。しかし福袋に例えた新聞がありましたが、歓迎したい政策と危なかしい言動が一緒に詰め込まれたアベノミクスが、早く、世界の平和と持続的発展にベクトルを合わせてくれることを願うばかりです。

グローバル・コンパクトの2013年は、内外ともに、Post2015に向けた準備を開始した年でした。国連本部でも多くの活動がありましたが、GC-JNの会員の増加と年会費の改定による財政基盤の再構築はその意味では大きな一歩となりました。皆様のご協力に深く感謝致します。2014年は、Post2015の実現に向けて、自ら発信し、行動するGC-JNを目指して、準備をより具体的に、体制を整える年にしなければなりません。今年は、日中韓のラウンドテーブルのホスト国を担当します。中期計画の策定も行います。会員の皆様と密に連絡を取りながら2014年を真に意義のある年にしたいと思います。皆様の2014年が更によい年でありますように祈念致します。

○【2014年はどんな年?】後藤理事、野村理事より

【GC-JN 理事 後藤 敏彦】

世界は全く不透明ですね。アベノミクス?は続くのか? 日本は温室効果ガスについて、2050 年に 80%以上削減が閣議決定されているだけで、当面の目標は何もない。恐ろしいことですね。

昨年末に統合報告フレームワークが発行されました。よく読むと今の日本企業ではまず 100%このフレームワークの統合報告書は作れそうもありません。昨年エコプロでのシンポの資料の前書きに数年は苦勞するだろうと書きました。でも、経営層がこれに真剣にチャレンジしてみると数年で企業風土が変わる、すなわちイノベーションが成功すると思います。スタッフ部門としての CSR 担当も腕が試される年です。ポスト 2015 も先行き企業に大きな影響をあたえるものになりそうです。動向ウォッチが必須です。

グローバリゼーションの光と影。影を小さくし、光を増す活動の中からビジネス機会を見出していくことが必須ですが、それには上記のイノベーションを成功させねばならないでしょう。エンゲージメントが鍵で、今年のキーワードかもしれません。

【GC-JN 理事 野村 彰男】

GC-JN は去年で創設から10年、2008年に現体制に再編強化してからも5年がたちました。会員の皆様のご理解を得て財務体質の強化もできました。その意味で今年は GC-JN の活動を「第2ステージ」に押し上げる年と言えるのではないのでしょうか。幸い会員数も着実に伸びています。分科会も自主的活動が前進し、「明日の経営を考える会」(AKK)も6期目に入りました。だからすべては順調だと言おうとしているではありません。CSR の意味するものが進化し、会員に期待されるものがそれに呼応して変化してきたように、現在の単なる延長線上に「第2ステージ」はないように思うからです。

「国連の存在意義は加盟国が国連をいかに活用するか、にかかると言われてきました。同じことは GCO や GC-JN についても言えると思うのです。どちらも会員の存在で成り立つ組織です。乱暴な言い方をすれば、活かすも殺すも会員次第なのです。会員の発案で新しい活動を生み、ここぞというときには日本国内や GCO に対して発信する、つまりは会員がオーナーシップの自覚を高められるかどうか問われる時期にさしかかっている、と思うのです。今年は日中韓ネットワーク会合を東京で開きます。残念ながら中国、韓国との外交関係は深刻な対立状態にありますが、政治がそんな状況だからこそ、私たちは日中韓会合を成功させ、近隣国との絆を確認する——そんな GC-JN の覚悟と存在意義も試される2014年ではないのでしょうか。

○GC-JN 会員数最新情報(2014 年 1 月 30 日時点)

GC-JN 会員数 181 団体および企業

新規署名／加入: GXS 株式会社

アソシエイト会員 1 企業

○【報告】ラーニングフォーラム in 関西

1 月 28 日(火)、大阪・ドーンセンターにて「GC-JN 主催ラーニングフォーラム in 関西」を開催しました! GC-JN 主催イベントを大阪で開催するのは初めての試みでしたが、予想を遥かに上回るご参加希望をいただいただけでなく、なんと、当日はご参加登録いただいた全員(47 社 71 名)の方々がご来場され、雰囲気も実際の温度も熱気ムンムン、大盛況のうちに幕を閉じました。

GC-JN 川端理事のオープニングスピーチから始まり、野村理事、後藤理事、有馬代表理事という豪華メンバーにご講演いただき、最後には名取事務局長から GC 署名をご検討中の一般企業・団体の皆様(19 社 25 名)に向

けて GC および GC-JN の活動をご紹介しました。ご来場の皆様からは「こういった CSR 関係のイベントは関西で非常に数が少ないので、また是非開催してほしい！」といったお声をたくさんいただき、今日の熱気の意味、期待値の高さを改めて感じた 1 日でした。イベント前には関西分科会の皆様と GC-JN4 理事との昼食会、イベント後にはご参加の皆様との懇親会を実施し、非常に短い時間ながらも皆様が活発に交流を図られている様子を見ることが出来て、とても嬉しく思いました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。今回ご参加いただけなかった皆様、またの機会には是非足をお運びください。お待ちしております。当日の様子はこちらをご覧ください！

<https://www.facebook.com/media/set/?set=a.460607834040910.1073741858.252271311541231&type=1>

○【報告】BSR によるサプライチェーンセミナー

1 月 23 日(木)に BSR(Business for Social Responsibility)によるサプライチェーンに関するセミナーを開催しました。日本代表 永井氏による通訳のもと、BSR 香港事務所 バイス・プレジデントの Jeremy 氏にご講演いただきました。Jeremy 氏は、ナイキ社でのサプライチェーンや東南アジアでの工場業務のご経験を含め、10 年以上もグローバルなサプライチェーンに携わってきた方です。小売業、アパレル、エレクトロニクス、食品・飲料といった業界のアドバイスの実績を背景としたレクチャーはとて説得力のあるものでした。

参加者の多くがサプライチェーンマネジメントに従事されている方であり、講演後には時間が足りなくなるくらい積極的に質問をされている姿が印象的でした。GC-JN の中でもサプライチェーン分科会はもともと歴史のある会の一つですが、まだまだ関心の高い分野であることを再確認しました。本内容については GC-JN の Facebook にも投稿していますのでご覧ください。<https://www.facebook.com/ungcjin>

○GC-JN 2014 年間カレンダー

2014 年に予定されている GC-JN 関連の大きなイベントは以下の通りです。現時点での予定ですので変更の可能性がります。

- 1 月: BSR によるサプライチェーンセミナー(1/23)、ラーニングフォーラム in 関西(1/28)
- 2 月: 会員アンケート実施、明日の経営を考える会 OB 会発足(2/19)
- 3 月: RI Asia2014 による PRI 関連セミナー(3/5, 6)、第 9 回理事会(書面)
- 5 月: 第 10 回理事会(5/15)
- 6 月: GC-JN 年次総会 & ラーニングフォーラム(6/4)
- 7 月: 明日の経営を考える会 合宿
- 8 月: 日中韓ラウンドテーブル(今年は日本がホスト国です)
- 11 月: シンポジウム
- 12 月: 第 11 回理事会

○【報告と予告】亶理(わたり)町コレクティブアクション第 5 期活動報告とイベント開催の予告

GC-JN では、東日本大震災からの復興に向けた、会員企業・団体によるボランティア活動として、「GC-JN 東日本大震災復興コレクティブアクション(CA)」を実施しています。企業の横連携や複数セクター間の協働を通して社会課題の解決に臨むという組織の特徴を活かし、被災地の産業復興と経済的な自立に向けて継続的に支援しています。2011 年 10 月にスタートした宮城県亶理町での活動は 2013 年 12 月で第 5 期を終了し、これまでに

14社・394名の方にご参加いただきました。継続的なご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

第5期(2013年9月～12月)では、9社86名の方にご参加いただきました。本活動は一般社団法人ふらっと一ほくとともに企画・運営しており、参加者のアンケート回答結果では94%の方が活動プログラムに満足されています。今期も、被災地視察、語り部によるお話、苗木ポット作りとメンテナンス、地元の方との交流、ワークショップ等、2泊3日にわたり様々な体験をしていただき、考えや思いを共有する時間を設けました。詳細な活動報告書は会員掲示板に投稿致しましたのでぜひご覧ください。

<https://www.ungcjin.org/members/modules/gcjinnews/details.php?bid=340>(会員サイト)

【予告】東日本大震災復興コレクティブアクション(亶理町)説明会～活動報告と今後の展望～

第6期活動は2014年4月にスタートします。それに先立ち、これまでの活動を振り返る場として以下の機会を設けます。詳細は近日中に別途ご案内予定です。これまでご参加いただいた企業の皆様はもちろん、コレクティブアクションにご関心のある方にもぜひご参加いただければと思います。

【日時】2014年2月20日(木)15:00開始

【場所】地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)セミナースペース

渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

アクセス:<http://www.geoc.jp/access>

【対象】コレクティブアクション参加企業担当者および検討中企業・団体担当者

【定員】30名

【参加費】無料

【アジェンダ】

15:00～15:05 GC-JNより挨拶

15:05～15:25 亶理町コレクティブアクション活動報告 GC-JN事務局

15:25～16:45 第一部「わたりグリーンベルトプロジェクトの今までとこれから
～企業の関わり方という視点をふまえて～」

一般社団法人ふらっと一ほく代表 松島 宏佑 氏

16:45～17:00 休憩

17:00～18:30 第二部 第6期活動ご案内と意見交換会

19:00～20:30 懇親会(お一人様2,000円)

【お申込み】お申し込みは以下のリンクをご覧ください。別途メールでもご案内いたします。

<https://www.ungcjin.org/members/modules/gcjinnews/details.php?bid=341>(会員サイト)

○【予告】RI Asia 2014カンファレンス(3月5日、6日)

2012年度分科会の一つに、「SRI分科会」を記憶されている方もおられると思います。この度、PRI(Principles for Responsible Investment)事務局より以下の通り、カンファレンスのご案内をいただきました。GC-JN会員の皆様も関心の高いセミナーかと思えます。お申込み等は別途正式にご案内いたしますのでしばらくお待ちください。

【日程】2014年3月5日(水)、6日(木)

【会場】東京証券取引所(中央区日本橋兜町2-1)

【スポンサー】Responsible Investor 主催、株式会社日本取引所グループ共催、PRI 協力

【主な講演者】

東京証券取引所 代表取締役社長 清田 瞭氏

「Review of UK Equality Markets and Long-term Decision-Making」著者 ジョン・ケイ氏

三井住友信託銀行 経営企画部 CSR 担当部長 金井 司氏

FITS ESG エグゼクティブ 岸上 有沙氏

株式会社損害保険ジャパン CSR シニアアドバイザー 関 正雄氏

金融庁 総務企画課 企業開示課長 油布 志行氏 他 国内外の専門家による講演多数

多くの日本の投資家および企業は、責任投資がどのようにして企業価値を高め、長期保有のリスクを減少して投資リターンを高めていくか、また ESG の統合が機関投資家による投資にどのような意味を持っているのか、資産にどのように適用されていくのか、といった疑問を抱いているかと思います。RI Asia2014 カンファレンスではこうした課題に対して国際的なイニシアチブの事例を紹介し、国内外の著名な専門家がどのような持続的な責任投資戦略をとっているのかについて講演いただきます。

★UNGC の最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2013年12月31日時点)

- ・Business sector 7950 (新規 119 社)
- ・Non-Business sector 4119 (新規 24 団体)

○【再掲】Global Compact ロゴポリシー 2014年1月より発効

日頃は GC のロゴ(特に We Support ロゴ)の適正使用にご協力いただきありがとうございます。先般からご案内しております通り、2014 年からは新たなロゴポリシーに則った使用が求められます。すなわち、UNGC の署名者であること、COP や COE のステータスがアクティブあること、GCO への財政的援助(寄付)をしていること、がロゴ使用のための条件となりました。こちらのポリシーは 2014 年 1 月より有効となりました。この中には COP 提出専用で事前申請不要ロゴも紹介されています。これまでも COP Endorser ロゴはありましたが、少しデザインが変更されましたので再度ご紹介いたします。なお、COP 専用ロゴは COP 以外には使用できませんのでご注意願います。詳細は以下をご覧ください。ロゴポリシー変更に伴い、関連する GC-JN 会員サイトの更新を行います。近日中にアップいたしますので暫くお待ちください。

http://www.unglobalcompact.org/docs/about_the_gc/logo_policy/LogoPolicy1Jan2014.pdf

ビジネスセクターの寄付についてはこちらをご参照ください→

http://www.unglobalcompact.org/HowToParticipate/Business_Participation/index.html

○【ご参考までに】

- ・UNGC Leaders' Summit2013 Summary Report

2013 年 9 月に開催されたリーダーズサミットのサマリーがアップロードされましたのでご紹介いたします(非常に容量の重い資料ですのでご注意ください)。

http://www.unglobalcompact.org/docs/about_the_gc/LeadersSummit2013Report.pdf

- ・New Communication on Progress (COP) Resources

2013年5月にGRI(Global Reporting Initiative)ガイドライン第4版(通称G4)が発行されたことはご存知の方が多いと思います。UNGCとGRIが共同で以下のツールを公開しました。こちらには、G4の要素とGCのAdvanced COPクライテリアを対比したのも掲載されております。貴社・貴団体内で参考にされてはいかがでしょうか。

http://www.unglobalcompact.org/docs/communication_on_progress/Tools_and_Publications/Making_the_Connection_G4.pdf

・Business Calls for Anti-Corruption Meeting(2013.12.09)

GCの第10原則である腐敗防止に関する国連のワーキンググループによる会合が開催されました。ビジネスセクター、市民団体、UN、アカデミアから100名近い代表が集まり、Post-2015アジェンダに腐敗防止と優良なガバナンス体制の要素を含めることを要求しました。

http://www.unglobalcompact.org/Issues/transparency_anticorruption/call_to_action_post2015.html

=====

著者:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局

編集:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局、広報委員会

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

Email: gcjnoffice@ungcjin.net

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931

©2014 Global Compact Japan Network all rights reserved.

※貴社・貴団体内におけるGC浸透目的での転送は歓迎します!